

社会福祉施設における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	9～ 10	訪問先に向かうため社用車を運転中、店舗駐車場から突然車線上に車両が進入してきた。確認と同時にブレーキをかけたが、スリップして回避できず、自車の右前部と相手車の左前部が衝突し、その反動で左側のゴミステーションへ衝突した。	39	50 ～ 99
1	12～ 13	訪問看護の仕事を終えて、営業車で向かっている途中、トンネル内で急にめまいがし、対向車線にはみ出し、対向車と衝突をした。	46	1～ 9
1	17～ 18	添乗職員が降り、本人も洗車ホースを取りに車から降りて車庫の中に入った。本人が振り向くと車が動いていたため、慌てて車を手で押して止めようとし、車と建物に挟まれ怪我をした。	67	100 ～ 299
1	14～ 15	訪問入浴業務終了後に帰社するため、お客様宅の駐車場に停めてあった入浴車に乗ろうとして、半開きのスライドドアの淵に右手をかけたところ、強風でドアが閉まって右手の第二指を挟み負傷した。	35	—
1	8～9	利用者をお迎えの際、利用者を行進方向に向かって左側から送迎車に搭乗させ、介護職員が立ったまま後ろ向き状態でスライドドアを閉め、右足の小指を挟んで骨折した。	61	30 ～ 49
1	20～ 21	訪問介護利用者宅へ公用車で移動途中、進行方向である交差点の信号が青であることを確認した上で直進していたが、交差する道の左側から相手方の車が出てきて、ブレーキを踏む間もなく衝突し、エアバッグもしくはハンドルに腹部を強打した。	29	30 ～ 49
1	8～9	朝のお迎えで、利用者宅に着き乗っていたハイエースのスライド式ドアを開け、補助席の椅子を上げている際、坂道だったため、スライド式ドアが勢いよく閉まり、左足にぶつかった。	54	10 ～ 29

1	18～ 19	児童発達支援室のサービスを終了した児童を送迎中に運転手が左折しようとしたところ、児童から「違うよ」と指摘を受け、慌てて車をバックした際に後ろの車の前方部にぶつかってしまった。なお、被災労働者は後部座席にいて、当たった衝撃のため、右首と右肩に強い痛みを生じた。	29	30 ～ 49
1	13～ 14	運転席後部に乗り訪問介護に車で向かう途中、前方に停車中の車に追突し、運転席にぶつかり、首・左脇・右腕・左足を負傷した。	64	10 ～ 29
1	8～9	最初の利用者宅での仕事を終え、次の利用者宅の介護サービスに向かっている途中、前方の自動車が路肩に停めてあったトラックを避けて走行した所、前方から車が進入してきて、急ブレーキをかけ、自分が運転していたバイクのブレーキが間に合わず、ぶつかってしまい負傷した。	50	10 ～ 29
1	16～ 17	被災者が雪を軽トラで捨てに行く作業中、交差点の信号機前で前の車の後ろに停車中、後方より、車両に追突された。その衝突により前方の停車車両に玉突きとなり、負傷した。	69	30 ～ 49
1	16～ 17	夕方の送迎で、利用者を1人乗せ自宅へ送る時、主要道路に出る所の下り坂になっている信号のない交差点で、右折待ちで停車していた。その時、後方から来た車が、左後方にぶつかってきて、首と背中を打った。相手の運転手は、西日がまぶしくて気付けなかったと言っている。なお、被災者以外の職員は同乗していない。	22	30 ～ 49
1	7～8	自宅から訪問看護宅へ向かう途中、対向車道路は路面凍結したことによりスリップし、横滑りをしながら正面衝突となった。	31	—
1	9～ 10	お客様宅でのサービスが終了し、原付バイクで自宅へ戻ろうと走行中、対面通所可能だが、狭い道路と狭い道路の交差点で飛び出し確認のため道路の真中付近へ寄ったところ、対面から進んできた自動車と正面衝突して転倒し、右足と頬を打った。	72	10 ～ 29
1	8～9	利用者宅へバイクで向かう途中、踏み切りの手前でブレーキをかけたが、停まりきれず転倒した。	50	50 ～ 99

1	17~ 18	利用者宅より事務所へ帰ろうと自転車で移動していた所、道路の曲がり道でゆるやかな登り坂を上ろうとしペダルをこごうとした時にペダルを踏みはずし、右に倒れて両手をついて倒れ、左手首にひびが入った。	62	10 ~ 29
2	18~19	夕方の送迎でデイサービス利用者を自宅に送り届けた後、次の利用者宅に向かうため送迎車を添乗者のバック誘導で駐車場から道路に出ようとして車両が後進していた時、窓を開放していたが車内の利用者の話声で誘導者の声は届かず、外灯のない状況で視認されず添乗者が強く車体を叩いたところで気づいて停車したがステンレスの柵と車両の間に挟まれ右大腿部と膝を負傷したものである。	49	50 ~ 99
2	14~15	交差点において、本人が運転する車両が一時停止の標識の認識を怠り、同交差点に進入してしまった。当時、本人が運転していた車両の速度は30~40km/hと思われる。尚、本人は、衝突直後の記憶がなく、相手車両の運転手の方が救急車を手配し、そのまま病院へ緊急搬送された。	25	1~ 9
2	17~18	用車でお客様宅に訪問介護に向かう途中、信号のない交差点で停止中に、後方から相手方（第三者）車両に追突され体を強打して負傷した。	38	—
2	8~9	利用者の送迎の為、車を運転し、交差点に差し掛かった時、右より交差点に進入してきた車が有り、急ブレーキを掛けたが間に合わず相手方車体の後輪付近に激突した。衝突のはずみで相手車両が、左手より交差点に進入しようとしていた車両Bに当たり止まる。（当時路面凍結有）	36	50 ~ 99
2	15~16	当運営施設へ自動車に向かう途中、交差点において、安全確認を怠り、一時停止をしなかったため、左側から垂直に走行してきた車に、衝突され、車が横転し、首を負傷したものである。	63	—
2	7~8	コインパーキングで定期巡回の介護へ行っている際に同行者の介護士が会社の軽自動車コインパーキングにバックで車を駐車しようとしていた。一番左端のコインパーキングの為、車から降りる際に壁とドアの間が狭い為、先に車から降りた。その後、車が壁にぶつかりそうなので、コインパークの中に入り「オーライ、オーライ」と誘導していた。その後、車が急な勢いで壁側に来て、私は壁側に立って誘導していたので、車と壁に挟まれ左足の太ももが肉離れした。	39	100 ~ 299
		弊社敷地内にて送迎車両（1BOX車）の後部座席の清掃をし運転席側後部のスライ		

2	16~17	ドドアから降りた後、ドアを閉めたが5cm程開いており、閉まらないだろうと思い 運転席ドアの後ろに塵取りを持った状態で左手を置いていたらスライドドアのイー ジークローズ機能が動きドアが閉まり、ドアの間にあった左手小指が挟まり、左手 第5指を裂傷と末節骨を骨折した。	62	10 ～ 29
2	14~15	バイクで北に直進中、最初の交差点にて、右方向一旦停止で乗用車が停止したのを 確認して直進したが乗用車が出て来て、避けきれずにバイク後輪付近に接触し、転 倒する。	49	100 ～ 299
2	10~11	在宅介護の仕事を終えて、利用者様のガレージからバイクでエンジンをかけずに後 ろ向きに出ようとした時に、後ろ向きに進行していた相手方の車と衝突し、転倒し て負傷した。	61	30 ～ 49
2	15~16	特養施設へ書類を届ける為、進入口よりバイクで左折した。後方より車の音がし たので左側に寄ろうとしてバイク前輪が縁石に接触した。身体が歩行道路に飛ば されてしまった。左肩から激突し、左膝も裂傷した。近くにいた高校生が病院へ 連絡してくれ、病院にて初期治療を受けた。左膝は、すぐに縫合を行い、左肩は レントゲン及びCTを撮り、骨折していることが判明した。入院と言われたので自 宅に近い医療機関へ転院を希望した。	63	50 ～ 99
2	11~12	事業所所有原付バイクで路地を北上中、東から来た小型スクーターと四つ角の中心 辺りの出会い頭に衝突した。小型スクーターが原付バイクの前カゴ部に右側から 当たった為ハンドルが取られ、右側に転倒し、右膝外側と左足首内側を打撲した。	45	100 ～ 299
2	16~17	勤務中、帰苑の送迎の際、送迎車のリフトの動作中に足元を挟んでしまった。 (リフトと地面の間に挟まれた。)	28	—
2	12~13	研修会場へ行く為に、施設より自身のバイクで向かう途中、左側脇道より急に車が 出てきたので避けようとして転倒した。救急搬送となった。(左鎖骨骨折、左足 親指骨折)	58	50 ～ 99
3	15~16	納品先で車のトランクから納品の品を下ろしているとき、同僚が本人に気づかず、 誤ってドアを閉めてしまったため、左頭部にぶつかった。	37	1～ 9
		利用者宅に向かって走行中、わき見運転をしてしまい、道路左側の電柱に激突し		30

3	15~16	た。エアバッグが作動し、右腕と胸部を強打し骨折した。	54	~ 49
3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車の助手席側後部座席に乗車していた。ほかに運転者と添乗者の計3名で移動中、車両が片側2車線道路の右車線を走行中に、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、首と腰を負傷した。	43	50 ~ 99
3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車に運転者として乗車していた。ほかに2名の同乗者とともに、車両は片側2車線道路の右車線を走行中、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、背部と頸部を負傷した。	39	50 ~ 99
3	16~17	訪問入浴を終え、駐車場に車をまわし、入浴車の後片付けをし、後部スライドドアを左手で閉めようとしたとき、ドアの開閉部においていた右手人差し指をはさみ負傷した。	48	10 ~ 29
3	17~18	事務所駐車場内にて、帰ろうと駐車場出口に向かい直進していたとき、相手は駐車場に頭から入れていた車をバックさせていた。相手は後方を目視していたが見えておらず、クラクションを鳴らしたが、そのまま相手車左後方部分と当該車の右前フェンダーが接触した。	53	10 ~ 29
3	15~16	外出活動から事業所へ戻る帰り道の一般道路上において、車2台に分乗し前後に並び走行中、追走車が前方不注意にて前走車に追突し、前走車に乗車していた被災者が腰椎および胸椎を捻挫した。	54	10 ~ 29
3	14~15	前方の信号が赤のため停止中、7人乗り乗用車2列目中央に本人が座っているとき、乗用車後方左側に加害者小型トラックが脇見運転の上ノーブレーキで追突した。はずみで乗用車は前方の大型トラックに追突し、本人はその衝撃で一時意識を失うも、同乗者に促され下車し、救急搬送された。	62	50 ~ 99
3	15~16	信号の無い交差点を自転車で渡っている時に、車と衝突して負傷した。	60	30 ~ 49
		双方に止まれの標識がない交差点で、デイサービス利用者送迎用の軽四車両を運転		

3	16~17	中に、左側から車がきていることに気付いたが、距離が近すぎてぶつかると思い、アクセルを踏んで避けようとしたが間に合わず、車両の後部に相手の車両のフロントがぶつかり、軽四がはじき飛ばされ回転し、田んぼに落ちた際に頸部を負傷した。	48	~ 99	50
3	8~9	車で通勤し、従業員駐車場内の右奥から2番目の場所に駐車しているのを確認し、車から降り扉を閉めたのを自車内後ろで目視確認するまで、停車して待ち、その車右側スペースに止めようと、運転席側のドアを開け縁石ギリギリに止めようと目視で下がった。その際、時計をカバンの中から探そうと下を向きながら歩いていた被災者が、バックしてきた車の後方と衝突し、倒れた。	49	~ 99	50
3	11~12	優先道路の交差点を直進で進行中、右方向より相手車両が飛び出してきたが、衝突を回避する事が出来なかった。相手車両との衝突後は脳震盪を起こし動くことができず、救急搬送された。	57	~ 299	100
3	11~12	デイサービス利用者宅へ車で移動中、停止線標識なしの丁字路にて、減速して安全確認をしようとしたが左側に住宅があり、前に出ないと左右の確認が取れない環境と不注意が重なり、前に出すぎて右方向から来た車と衝突し、前胸部および左中指を打撲した。	52	~ 299	100
3	7~8	朝の送迎時、利用者宅に向かう途中、十字路の出会い頭でデイバスと乗用車が衝突した。双方の運転手の前方不注意による事故であった。デイバスに同乗していた介護職員がシートベルトのない補助席に座っていたため、全身を打撲し、救急車で病院に搬送される。	64	~ 29	10
3	8~9	入居者送迎のため、他の従業員が運転する車両に同乗し、施設駐車場から出発しようとしたところ、当該車両が急発進し、道路向かいの家屋の壁に衝突した。	75	~ 29	10
3	9~10	利用者宅を出て車で走行中、自宅から出て右折しようとした車に当てられ頭部、頸部、右膝を負傷した。	36	~ 29	10
3	17~18	利用者（発生場所）の支援を終えて次の利用者宅へ移動する時、エンジンをかけて	57	~	50

		バイクを押して歩いていた時にアクセルが開いて暴走し、引っぱられて転倒した。		99
3	12~13	訪問介護生活援助で買い物代行サービスを実施中、バイクにて利用者の自宅に戻る途中で車進入止めのU字ポールの間をバイクにてすり抜けようとした時、U字ポールに右足下腹部を強打し、打撲圧迫による切創を負い出血した。	65	10 ~ 29
3	14~15	利用者様との事前面談の為、自身の勤め先である事業所から病院へ車で向かう途中、交差点の信号が赤に変わったため停止していたところ、2台後ろの加害者運転の車が、本人の後ろの車へ追突するという玉突き事故が発生し、外傷性頭部症候群、背部打撲、左手打撲を負った。	38	100 ~ 299
3	16~17	デイサービス利用者の送迎中、車イスの昇降リフト装置付きの車両へ車イスを収納し、車両後方から降りようとした際、握った取っ手が外れ、その反動で頭部からうつぶせの状態です路面へ転落し、右頭部及び右肘を強打した。	51	50 ~ 99
3	9~10	デイサービスのお迎えのため、車でお客様宅に行き、車イスのお客様をリフトで車内にお乗せした。その後、1人で車の後部から外に出ようとした際、左足が車のステップからスリップし、踵からアスファルトの地面に落ち強打した。なお、その日は朝から小雨模様だった。そのとき左足にかなりの体重がかかり、激痛がはしり歩けなくなり、後日に左踵骨骨折の診断を受けた。	69	50 ~ 99
3	17~18	サービス提供のため利用者宅へ向かっている際、相手方の私有地を通過時、相手の車がバックする事に気づき、左方向へハンドルを切ったが間に合わず、相手の車と接触した。	31	50 ~ 99
4	16~17	ケアマネジャーとして別拠点にいる利用者様にデイサービス利用票を届けるため駐車場に車を止めようとした際、ブレーキとアクセルを踏み間違えて足が滑り（原因不明）、車を支障物にぶつかり停止した。その衝撃でシートベルトに胸をぶつけて骨折した。	60	30 ~ 49
4	16~17	営業所内の駐車場にてデイサービスの送迎の準備中、送迎車の窓を拭くため車両のタイヤに登り、右手を車両の縁につかまって左手で窓を拭く作業していたとき、左足を滑らせ落下し左踵を負傷した。	60	30 ~ 49
		デイサービス玄関前に駐車している車両にて、送迎前に利用者の荷物を載せたあ		10

4	15～ 16	と、一旦スライドドアを閉めたときに車体に添えていた左手を挟み込んでしまった。すぐに、自身の右手でドアを開けたが、左手中指を損傷した。	57	～ 29
4	11～ 12	バイクで利用者宅から利用者宅へ移動中、交差点を右折する為に右車線に入ったところ、すぐ後ろの乗用車がミラーの死角に向かっていて見えず接触して転倒し、骨折した。	53	～ 29
4	9～ 10	事務所から利用者様宅へバイクで向かう途中、道路上でマンション駐車場から出てきた車に、乗っていたバイクの横をぶつけられて転倒した。	48	～ 29
4	16～ 17	次の訪問先へ向かう途中のT字路手前道路で、前方ワゴン車が左折ランプを点灯していたので、信号を左折すると思ったが手前の駐車場へ入り、ぶつかると思い急ブレーキで右に車体を傾けたところ、車には当たらずに転倒した。	56	～ 29
4	12～ 13	利用者宅より移動中、細い道を西に向かって原付自転車で走行中、T字路（信号、停止線なし）にて右折しようとしたところ、北向き一方通行で走行してきたタクシーと接触した。	54	～ 29
4	17～ 18	児童の送迎のために車の運転業務中、葬祭場の手前で警備員が停止するよう合図していたので停止していたところ、後ろから来た車両に追突され全身を強打した。	29	1～ 9
4	16～ 17	利用者送迎の帰りに走行中、店出入口付近で、前方を走行していた車が店舗へ進入しているところへ追突した。	56	～ 299
4	10～ 11	訪問介護の業務の中で、利用者の依頼した買い物に車で向かう際、斜面地の駐車場で方向転換を行おうとした際に運転を誤り、駐車場の柵を突き破って7～8メートル下の地面に転落した。	67	～ 49
4	9～ 10	施設正面玄関前に送迎車（リフト車）で到着し、利用者様を降ろすために送迎車の後方から降りる際、乗降ステップに右足をかけたが、雨で濡れており車イスのグリップを握ったまま後方に転落し背中を打撲した。	65	～ 299
	11～	原付バイクで訪問介護の移動中に雨が降っており、カッパ、ヘルメット着用、水滴で前が見えづらくなっており、信号で急ブレーキをかけたところスリップし転倒し		30

4	12	た。その際に右側に倒れ、右腕、右脚、左手の甲打撲足のつけ根の内出血、右ひざ、右足の甲を擦りむいた。	53	～ 49
4	17～ 18	デイサービス利用者を送る際、利用者自宅前でリフト車を作動中、リフトが作動せずギアボックスにナットを差し込み、ギアを動かそうとしたときに約10cm四方のギアボックスの中へナットを落としてしまい、回収しようとした際にギアが動き出し、左手人差し指を挟まれた。	49	100 ～ 299
5	9～ 10	出勤時、保育園駐車場に車を駐車しようとした際に耳の痛みを感じて気を取られ、アクセルを踏んだまま前進し、前方にあったポールに追突してしまった。	23	10 ～ 29
5	17～ 18	送迎からの帰り道に誤って信号機に衝突してしまった。運転中にボーっとしてしまい運転操作を誤ってしまった事が原因である。車両は信号機にめり込んで全損し、頸椎捻挫、多少の擦り傷、切り傷を負った。	20	100 ～ 299
5	11～ 12	仕事場（マンション1F部分およびその周囲）の裏の外水道で粘土ベラ等を洗って終了後、玄関前に出ようとしたら、マンションの外階段の脇に自転車が停めてあって、前輪の向きを少し変えようとしたところ自転車が傾き、慌てて両手で止めようとしたがモーターサイクルのため重量があり、腕に負荷がかかる。	72	10 ～ 29
5	11～ 12	利用者宅に向かうため原動機付自転車を運転中、見通しのよい十字路を直進しようと、十字路に進入した。その際、一時停止をした様子だが、完全ではなかったため、相手の車の運転席右前方のピラー付近に衝突した。そのはずみでヘルメットが脱げて、そのまま後方に転倒して後頭部を強打し、頭蓋内出血、肋骨骨折及び骨盤骨折を負った。	62	1～ 9
5	13～ 14	自動車でショートステイの利用者様を、自宅から当老人ホームに送っていた際に事故が発生した。複数事故が起きている、緩やかな右カーブの細い道路にて、法定速度で走行中、自動車の左前方を塀にこすってしまったため、焦ってハンドル操作を誤り、左側面をこすりながら電柱に衝突した。ほぼ真正面からぶつかったため衝撃が大きく、エアバックが作動してしまい、鎖骨を骨折した。	59	50 ～ 99
		強度行動障害者への支援についての研修会参加のため出張中、研修会を終えての帰		10

5	20～ 21	り道、高速道路を走行中、右前輪が道路上の落下物に接触した。同乗者が確認のため車から降り確認中、走行車線を走っていたトラックが後方より追突した。当方労働者は運転席に乗車中にて負傷し、同乗者は無傷であった。	44 ～ 29
5	13～ 14	車椅子の利用者を自宅へ送る為、車からスロープを出し、安全ベルトを車椅子へつけた。スロープから降りようとしたところ、スロープの端にある落下防止の5cm位あるへりに右足が引っ掛かり、後へ転倒して右手首を負傷した。	100 62 ～ 299
5	21～ 22	交差点（片側二車線）にて、走行中の車の左側面でバイクにて走行中、右車線を走行中の車がウインカーを付けずに左車線に進入してきた。それを避けようとした左車線走行中の車が急ハンドルを切り、当バイクと接触し、バイクが転倒した。	50 33 ～ 99
5	15～ 16	訪問介護中、利用者より買い物を依頼されバイクで買い物に行く途中、当日は雨天で路上が滑りやすくなっており、一旦停止の所で一旦停止の字の上でスリップして転倒した。	10 56 ～ 29
5	13～ 14	訪問介護サービス中、利用者宅から買い物に行く途中、路上にて事故が発生した。原付バイクで道路を南進し、駐車場へ入る為右折しようとしたところに、後から追い越そうとしたバイクと接触し転倒した。相手方のバイクが当方本人の足に直撃し、右足首に骨折を負った。	30 73 ～ 49
5	13～ 14	荷物の積み込みの際、利用者にバックドアを開けてもらうため車のカギを渡した。利用者は、車内が暑かったため冷房をかけようとしたところ、誤ってエンジンをかけてしまい、車が後退し始める。車を止めようとしたところ、引っ掛かって引きずられてしまった。	30 67 ～ 49
5	16～ 17	社用車でデイサービス送迎時、交差点で信号待ちで止まっていたところ、後ろから追突された。	30 32 ～ 49
5	9～ 10	利用者宅にて乗務中、手押し車を送迎車に積み込みバックドアから降りようとした時、大雨が降っていたためステップから滑って、右足から地面へ転落し、左内股と左手首を強打した。	100 62 ～ 299
		ご利用者宅へ向かうため、公用車輛にて走行中、下り坂を下りきり、ゆるやかな右	10

6	14～ 15	カーブを曲がりきる付近でセンターラインをオーバーしてしまい、対向車線を走行していた貨物トラック後部に接触し、貨物トラックの後を走行していたダンプと正面衝突する。その後、救急車にて病院へ救急搬送される。	57	～ 29
6	8～9	老人介護施設（デイサービス）に利用者を搬送し、利用者の降車が完了したところ、利用者の降車をしていた当該被災者が車から降りる為、車と（車椅子用）オートリフターの間にある約30cmの隙間を跨いでオートリフターの上に着地したところ、足を踏み外し、左足首を「くの字」に曲げて着地し、両手がフリー状態の為、曲がった足首に全体重が加わり、左足首を脱臼骨折した。	59	～ 49
6	9～ 10	デイサービスご利用者様送迎の為、後部座席から降車する際、入口横に座っている利用者様のシートベルトが気になり、頭上に注意がいきってしまい、ステップから滑り、仰向けに転倒した。その際、頭部を地面にぶつけてしまった。	49	～ 300 499
6	17～ 18	デイサービス利用者の帰りの送迎時、利用者住宅駐車場にて送迎車からの降車介助の時、車両のスライドドアを開けて、2列目の座席の下から足台を引き出して降車の準備をし、右手で利用者を支え、足台が動かないように左足で押さえ、バランスを保つために右手は車両のドア枠につかまりながら介助している時、スライドドアが自然に閉まり、誤って右手を挟み負傷した。	51	～ 10 29
6	9～ 10	利用者を送迎するため添乗員として社用車で移動中、交差点にて直進レーンから右折レーンに入って右折する際に、後続車両に接触され負傷した。相手車両はそのまま逃走したため、ナンバー等は確認できず、警察へ当て逃げの被害届を提出した。	51	～ 50 99
6	9～ 10	デイサービス利用者宅前にて、朝の迎いの送迎の際、送迎車が利用者自宅前に到着して、後部座席からスライドドアを開けて送迎車から降りるため、ステップ板に足をかけ地面に着地しようとした際にバランスを崩し、前方に四つん這いになるようにして転倒し、両肘・両膝・両足首を負傷した。	40	～ 10 29
6	14～ 15	利用者宅へ訪問する途中、十字路の交差点をバイクで走行中に、左側から出て来た乗用車と接触した際に転倒し、左肩脱臼、靭帯断裂（2ヶ所）が発生した。	42	～ 10 29
				50

6	12～ 13	出勤のため原動機付自転車に乗り、事業場の敷地内を走行中、対向車を避けようとハンドル操作を行った際、雨天時であった為にスリップし転倒した。	43	～ 99
6	0～1	丁字路を直進中に、進行方向右側より左折して来た車と衝突した。	32	1～ 9
6	12～ 13	訪問介護サービスを終え事務所に戻る途中、前方から自転車に乗った高齢の女性が向かって来た。危ないと思い女性と逆の方向に進路を向けたが、女性が同じ方向に向かって来たため衝突しないようにハンドルを切った際、自転車から転落して着地に失敗し、左足首を捻ってしまい、足の痛みが酷くなった。	27	～ 100 299
6	4～5	交差点付近で信号待ちをしている時、居眠りしてしまいブレーキペダルから足を離してしまった為、前方に停車している自動車に追突してしまった。	49	10 ～ 29
6	15～ 16	リハビリ利用者を自宅まで送迎するため、送迎車の助手席に被災者が同乗していた。送迎後、利用者の自宅前の路地から車が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだところ、シートベルトを着用途中の被災者が、反動で額を車内の窓枠に打ちつけた後、その反動で座席に頸部を強く打ちつけた。	65	50 ～ 99
6	7～8	駐車場にて駐車をしようとした際、ブレーキを踏んだが間に合わずそのまま前進し、田んぼに転落し、首・肩・腕・腰等を打撲した。	34	100 ～ 299
6	11～ 12	訪問介護の業務を終えて車で帰社するため、交差点を東へ右折しようとしたところ、東から直進してきた車と衝突した。	61	1～ 9
7	10～11	訪問介護のため社用車で移動中、交差点内において右折のため、車を停止させ対向車や歩行者の通過待ちをしていたところ、後方から来た車が減速せずに走行してくるのを確認したが車は停止できず社用車の後方左側のバンパーを中心に全体に追突。その際に頸部と腰部を捻挫したものである。	40	1～ 9
7	18～19	利用者宅から自転車で事務所に戻る途中、左側に用水路のある道路を走行中、対向車を避けた際、側溝のへりの出っ張りに前輪が引っかかり左側に転倒、用水路に落下し左足踵骨骨折をした。	61	30 ～ 49

7	9~10	デイサービス利用者宅前の駐車場で、被災者が右手で利用者の荷物を持って車両の助手席に載せたのち、左手で助手席のドアをつかんだまま閉めようとしたところ、うっかりして親指がドアの内側に入ったままだったため挟まれてしまい、左手親指の爪の部分の下あたりを裂傷し、第一関節部分を骨折したもの。	60	100 ~ 299
7	13~14	訪問先から事務所の駐車場に戻り、奥の駐車スペースに駐車するため場内を直進していた際、右側に並んだ駐車スペースに前向き駐車していた車両がバックしてきて、相手車両の右後方バンパー部分に、当方の運転席ドア前から右後ろドア付近にかけて引きずるように接触した。なお、相手車両も本会の事業用車両であり、運転者も本会の別の職員であった。両者とも相手の車両が認識できておらず、当方の前方不注意と相手の後方不注意が原因と思われる。	44	100 ~ 299
7	18~19	店舗レジ周辺にてゴミを集める作業中、ゴミ袋を右手に持ちレジ出入口から出ようと右足に体重を乗せた時に膝を捻ったような感じがあり崩れ落ちそうになった。慌てて立ち上がったが右足に体重をかけると膝に痛みがあり動かすことも立っていることも出来ない状態になった。	24	10 ~ 29
7	11~12	社用車駐車場内において、駐車中の社用車両内後部席（車椅子乗車準備）で、後部座席シートを折りたたんであげた際、止めの噛み合わせがはまらず、両腕に力を入れて再度シートを押した瞬間、腰部で音が鳴り中腰のままの体勢で動けなくなった。	50	30 ~ 49
7	9~10	通所リハビリテーション送迎中に車両から利用者を介助している時、右足がステップ上に乗った状態でふんばった際に左足のバランスを崩し、左足をついた時痛みと違和感と感じた。	69	100 ~ 299
7	8~9	デイサービスご利用者の送迎のため、社用車使用にて、ご利用者宅へ向かう途中走行中に、右後方タイヤがパンクしたことにより、ハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突したもの。 ※使用車両については、専門業者による3ヶ月点検、1年ごとの法定点検の定期点検及び車両使用者による乗車前の簡易点検を実施しており、特に異常はなかった。	45	100 ~ 299
7	8~9	高台にある施設内のデイサービス送迎業務中（利用者同乗なし）、ブレーキとアクセルを踏み間違えてフェンスを突きやぶり、4~5m下の私道に転落し、横転（車両	64	10 ~

		上部が私道に接地する状態) した。		29
7	9~10	障がい者支援施設の利用者をワンボックスカーで迎えに行き、到着後に車内から後方の扉を開け、転倒防止板（30cm位の鉄板で以下?とする）をまたいで、バンパーに足を掛け、降りる際に踏みはずした。地面に足が届かず?で陰部を打撲した後、車外に転倒。内出血して当日緊急で外陰部の血腫除去手術を行う。リフトは基本外からリモコンを操作して降ろす。リフトが降りたら?は倒れてスロープの役割となる。利用者が多い場合、後方からしか乗り降りできない。	52	100 ~ 299
7	12~13	入所者さんを病院に送った帰りに、病院内の駐車場で車椅子に乗っている入居者さんを軽自動車に乗せるためトランクのドアを開け、スロープを出そうとした時に、スロープが被災者の右足の親指に落ちてきて負傷した。	27	10 ~ 29
7	8~9	通所リハビリの送迎に向けて、利用者宅へ行く途中のトンネルで、ダンプトラックがスリップし、対向車線をはみ出し、自車と正面衝突した。	42	50 ~ 99
7	16~17	利用者の送迎中、交差点（信号はなく、相手側に、一旦停止がある。）に近付いたところ、左側から軽自動車が交差点に進入しそうだったためブレーキを踏んだが間に合わず、自車右前と相手の車の右後方が接触した。衝撃で相手の車は民家のブロックにぶつかった。	32	10 ~ 29
7	11~12	信号待ちのとき、後方より追突された。その後、追突車両は逃走した。	31	10 ~ 29
7	12~13	利用者宅へお迎えに行く途中の事故である。自転車で信号なしの交差点に進入した際、左方から交差点に進入した相手車と出会い頭に衝突し、救急車で病院に搬送された。診断の結果、右第1、第2趾骨折、四肢・腰部擦過傷、右膝半月板損傷で約1ヶ月間の加療を要する見込みである。通勤経路について、通常は自宅から直接利用者自宅へ向かうが、当日は靴を忘れたため会社に一度寄ってから出勤した。なお、会社での業務は行っていない。	46	1~ 9
		仕事で利用者の買い物代行をするため、店へ行く途中、交差点で一時停止後に自転		10

7	16～ 17	車を発進したところ、相手の自転車は右側の坂道より下ってきて、当方自転車側面に衝突し、自転車ごと地面に倒れた。その衝突で、当方右肩と両足を負傷した（特に右大腿部の負傷が大きかった）。	43	～ 29
7	17～ 18	仕事場である小学校から自宅へ原付バイクで帰宅中、交差点付近を直進中に、左から右折しようとしていた車にぶつかり転倒した。	26	1～ 9
7	16～ 17	利用者の送迎業務にて運行中、ぼんやりしていて電信柱に衝突した。	66	10 ～ 29
7	16～ 17	利用者を全員送迎後、事業所に戻る途中、交差点付近で信号が変わったため、慌てて急ブレーキをかけたが間に合わず、信号待ちをしていた前から4台目の車に追突した。事故処理をしようとしたが、追突された車両が立ち去ったため、相手方は不明である。	33	1～ 9
7	15～ 16	駐車場を出て左折したとき、左に寄り過ぎて、そのまま電柱に衝突した。その際、アクセルを踏み込んだため、衝撃が強かった。	31	30 ～ 49
9	9～ 10	デイサービス送迎車（10人乗り、1BOXカー）に利用者を乗せ施設に戻る途中、車両前方から別の車両が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだ（交通事故には至らず）。被災者は後部座席で後ろ向いて利用者と話をしていたため、止まらずみで前方に飛ばされ、手すり用のバーに脇腹を強打した。利用者はシートベルトをしていたが、被災者はしていなかった。	46	100 ～ 299
9	18～ 19	訪問介護を終了し自転車で営業所に帰る途中、T字交差点の青信号を渡ろうとした際、反対方向から左折してきた車と衝突し、右手首を骨折した。	55	30 ～ 49
9	9～ 10	利用者の送迎中、信号のある交差点で、左折しようと信号待ちにて停車し、発進後に前車が停車した為、続いて停車したところ、後車の前方不注意によりノーブレーキで追突され、頸椎捻挫、背部、右手を挫傷した。	43	10 ～ 29
	12～	標識のない交差点で、被災者がその交差点を直進しようとした際に、右側から直進		50

9	13	してきた車と接触した。	59	～ 99
9	10～ 11	利用者迎えのため東に向かって走行中、前方停車車両を確認したため停止しようとしたが、操作を誤りブレーキを踏む事ができず、停車車両との衝突を避けるため、左にハンドルを切った所、歩道にあった電柱に正面からぶつかった。被害者は、当該送迎車両に同乗していた。	33	10 ～ 29
9	16～ 17	利用者宅への訪問に行く際、普段走行している道が除草作業の為、迂回した結果、疎水に架かる橋を越えなければならなくなった、疎水に架かる橋を渡る為、スロープを走行、スロープ走行中にバイクの一部が階段に接触し、ふらついた結果スロープから地面に転落、バイクと共に右側の地面に3m程度の高さから叩きつけられた。	49	30 ～ 49
9	16～ 17	信号の無い交差点で、被災労働者及び相手方も一旦停止をした、まず被災労働者が停止し、次に相手方が停止線で停止した、相手が停止した事を確認し、優先道路を走行中であった被災労働者が相手方に会釈し、ゆっくりと前進したところ、相手方の車が視界から外れた瞬間、左の後部座席の辺りに強い衝撃を受けた、そして腰部に痛みが走り、その数日後、首、左腕に痛みが出た。	44	50 ～ 99
9	9～ 10	ヘルパー業務の訪問の為に向けて、公用車を一人で運転して移動中、前方不注意でよそ見をしてしまい、中央ラインをはみ出し、対向車との接触事故を起こす。事故日は、身体に異変を感じなかったが、翌日、首等に痛みが発生した。	42	10 ～ 29
9	9～ 10	工業高校裏側付近の農道にて、左カーブを曲がったところで前方に車と自転車が有り避けようとして右側へハンドルを切り、ハンドル操作を誤り右側の2メートル程下の農地に上下さかさまに車ごと転落した。	25	10 ～ 29
10	15～ 16	訪問看護業務を終了して帰社の途中、交差点を通過しようとしたときに、右側の通りから走行して来た車と、当方の右側の後部と衝突。その際に、頸椎及び腰に捻挫及び打撲した。	39	10 ～ 29
10	17～ 18	信号、一時停止のない交差点で、通所児童の送迎で添乗業務を行っていた際、自転車ハイエースと軽自動車が出合い頭に衝突した。後部補助席で児童の対応を行っており、シートベルトをしていなかった為、衝突した際の衝撃で前方に投げ出され、	23	30 ～

		前座席に全身を打ちつけ、首等の痛みを訴え、搬送される。		49
10	16～ 17	当社介護施設駐車場において、傷者は、利用者の送迎のために同僚他2人と共にワゴン車に乗せる作業をしているとき、車イスの利用者を車内に乗せ、スロープ脇で確認をしていたところ、スロープ格納（電動式）の操作をする者が傷者の立ち位置をよく見ずに操作を行ったため、スロープとワゴン車後部のところにはさまれ受傷したものの。	46	30～ 49
10	14～ 15	利用者宅でのサービス終了後、車で事務所へ戻る途中、信号の無い十字路で、曲がる道を1本先と思い込み、ブレーキをかけずに優先道路に侵入してしまい、優先道路からきた車と衝突、頸椎捻挫した。	59	30～ 49
10	9～ 10	会社の駐車場にて事故の所有する自家用車が側溝へ脱輪したため、同僚4人と手で車を持ち上げた際、腰椎へ負担がかかり骨折した。	63	30～ 49
10	21～ 22	訪問看護業務中、ご利用者様宅より施設へ戻る途中の交差点で1つ先の信号と勘違いをし通過。その際、右方向より交差点を通過しようとしている車と衝突し、左前にある歩道のポールにぶつかり車は停止、両者救急搬送となった。	49	50～ 99
10	4～5	施設利用者の病院受診からの帰宅道中で利用者が車椅子からずり落ちた。その利用者を支え乗せ直そうと被災職員が介助中、トンネル出口付近の交差点手前で、減速のためのブレーキで後方に転倒し、腰を打ち、第一腰椎を圧迫骨折した。	51	30～ 49
10	9～ 10	利用者のデイサービスへの送迎中、被災者が運転している車が、信号のない交差点で、右折時、対向車待ちで停車している際、後方より進入して来た車に衝突された。被災者は頸部・腰部を挫傷した。	47	10～ 29
10	16～ 17	ご利用者宅からご利用者宅へ移動するために、駐輪場からバイクに乗車し、出ようとした時、バランスを崩した。その時地面に右足をつこうとしたが、道路から斜めに坂になっており足をつくことが出来ず、そのまま右側に右足を捻りながら転倒し、その足の上にバイクが乗り、また左手も地面について強打した。	56	100～ 299
10	13～	事務所からヘルパー訪問で利用者宅へ行くために原付で交差点を直進中、左側から左折車が出て来た。自動車との接触を避けるためブレーキをかけつつハンドルを	38	50～

	14	右側へきったところ転倒し、右上腕骨折、打撲、擦過創を受傷した。		99
10	10～ 11	利用者様宅にて訪問介護業務を終え自転車にて事業所に戻る途中、信号のない交差点において、北から南進してきた乗用車に衝突、転倒し、負傷したもの。	36	10 ～ 29
10	16～ 17	車椅子使用の施設利用者を事業所のワンボックスカーで移送中、路地から県道に出ようと発進したところ、右方向より自動車が接近してきたため、運転手がブレーキを踏んだ途端、利用者の様子を見ようと立ち上がった被災者がバランスを崩して転倒した。	42	—
11	9～ 10	デイサービスの利用者様宅へ社用車で向かう途中にて、前日の雪の影響でぬかるんでいた道路にタイヤがはまり、被災者一人で3分程前屈みの状態で押し出そうとしていた際、腰に痛みが出た。タイヤがはまった場所は農道で、被災者は運転席側のドアを開けた状態で自動車の外からハンドルと車体を押して、車を押し出そうとした。	31	50 ～ 99
11	15～ 16	社用車を運転中、犬が北側から南側へ横断したために、ハンドル操作を誤り、道路右側の電柱に衝突し受傷したものである。	59	10 ～ 29
11	17～ 18	デイサービスの送迎を終え、センターへ戻る途中、交差点で右側から出て来た車と接触した。ブレーキを掛けたが間に合わなかった。	28	100 ～ 299
11	18～ 19	利用者宅より事業所へ帰社途中、交差点を渡り、自転車道を走っていた時、左後方のコインパーキングから出ようとしていた車にぶつけられ、自転車ごと倒れ、負傷した。	61	1～ 9
11	8～9	自宅からお客様宅にバイクで移動中、停車していたタクシーが突然目の前に割り込みをして来たため、避けようとして転倒した。タクシーと接触したが、タクシーはそのまま逃走してしまった。	29	10 ～ 29
	16～	介護利用に同伴し、椅子ごとリフトステップを降ろす際、車後部より右側のリフトステップ側に近寄り立って椅子を受け取るべく待ち構えていたがカバンを渡された		10

11	17	ため、ステップに近付き過ぎた為ステップと地面の間に右側右足第三趾基節骨骨折の負傷を受けたものである。運転手がステッチダウンのスイッチを入れた。	51	～ 29
11	17～ 18	訪問先から事務所に原付バイクにて帰社途中、前方走行車両が道路渋滞により減速・停車していたことに気付かず、減速することなく、車両後部左に追突し、左側面に接触した後、バイクごと転倒した。衝突の際の記憶が不明瞭だが、ノーブレーキでぶつかっている事から、脇見運転が原因かと思われる。警察・救急隊が到着後、救急搬送された。	49	30 ～ 49
11	10～ 11	利用者宅より事業所に戻る際（もう1名のヘルパーと自転車で）に後方よりロードバイクが走っており、労働者が少し右に寄った際に後方から接触され転倒した。（ロードバイクはそのまま逃走）整形外科へ受診し、右足外果骨折と診断される。。	44	100 ～ 299
11	18～ 19	訪問の仕事を終え、会社に帰る途中対向車のヘッドライトがまぶしく前が見えなくなり、自転車が歩道と車道の縁石に衝突し左側に転倒し、左側肋骨を骨折した。	54	30 ～ 49
11	14～ 15	当苑、玄関前駐車場において、送迎車輛を駐車しようとした際、シフト操作を誤り、外灯・フェンス・縁石をなぎ倒し、フェンスを突き破り、停車した。当日は、外傷がなかったため、そのまま帰宅したが、翌日、痛みが出てきた。	68	50 ～ 99
11	17～ 18	車で直進中、脇道から右折進行しようとした相手車両と衝突した。 ※業務（会議出席）のため事業所の車両にて走行中	63	100 ～ 299
11	9～ 10	利用者を車に乗せた後、左手を車の外に出し、ドア上部に手を出した状態でスライドドアに背を向け右手で閉めた際、左手首を挟んだ。	67	1～ 9
11	9～ 10	通所介護顧客の送迎業務中に交差点右折で進入した際、横断歩道横断中の歩行者がいることに気付き、ブレーキを掛けた。同乗していた同行職員は補助席に座っていた為、座席から身体が飛び出し左手で身体を支えようとしたことにより受傷する。	69	100 ～ 299
		公用車を運転して移動中、十字路を通過しようとした際、左方向から直進した乗用		10

11	10~ 11	車に左ドア部分に横から追突されてしまった。車両が横転し、右手の平に切り傷、右手首、首、肩、腰に打撲を負った。	39	~ 29
12	8~9	朝の利用者様送迎時に、利用者様が乗車したあと、スタッフが着席する前に車が発車し、顔面を座席に強打した。	41	1~ 9
12	8~9	通所利用者を迎えに行き、利用者宅玄関前で福祉車両（ワンボックスカー）のバックハッチを開け、車内の車イスを荷台スペースに積み込んだあと、バックハッチから降りようと、バンパーのステップに片足をかけたところ、足を滑らせ後方へ転落し、左手首を玄関前石段にぶつけ負傷した。	58	100 ~ 299
12	10~11	デイサービス送迎車のバッテリーの不具合で確認のため、バッテリー上部の荷物箱を無理やり外そうとしたところ、箱とバッテリー部分のすき間に指をはさみ負傷した。その後、痛みはあったものの業務を行っていたが痛みが酷くなり、後日に受診したところ、壊死していることが判明したため切断をした。	63	30 ~ 49
12	12~13	事業所の駐車場にて、送迎車の車内そうじをしていた時、車から降りる際に、水で濡れていた長靴がすべり、頭をかばおうとして左手をつき、痛めた。	73	50 ~ 99
12	14~15	被災労働者が勤める通所介護事業所から利用者を自宅に送迎して事業所に戻るとき、坂のカーブを通過しようとしたところ、アクセル・ハンドル・ブレーキ操作のミスにより、坂の路肩に乗り上げたため、車体が横転した。	28	10 ~ 29
12	9~10	顧客のサービス業務を終え、一旦事務所に戻るべく、北側歩道を自転車で走行中、北から南に向かって狭い道路を運行していた加害者の車が道路に書かれた「止まれ」の標示と、一旦停止の標示板を無視して左折するべく突っ込んできたため、被災者はブレーキを掛け左にハンドルを切ったが避けられず、自転車から放り出され転倒し、胸部を強打し、負傷した。	59	50 ~ 99
12	10~11	訪問介護を終え利用者宅からバイクに乗って移動中、坂道にて対向車が、停まっている車を避けるため車線を越えてきたので、それを避けようとしたところ転倒した。医療機関を受診し、左肘骨折と診断された。	62	50 ~ 99
		利用者の買い物代行業務のため、スーパーに行こうとした時にT字路を右折した		30

12	12~13	際、左側から直進してきた軽自動車と接触事故をおこした。本人は事故当時の記憶を失っている為、詳細は不明である。	68	~ 49
12	16~17	施設玄関前にて、帰りの送迎準備中、利用者を車に乗車介助していたところ、車内から外に出る際に足を躓き、後ろ向きにコンクリートの地面に転落し、仙骨を骨折した。	29	30 ~ 49
12	10~11	利用者宅を訪問しようとして自転車で移動中、道路で左側から自転車に衝突され負傷した。	47	30 ~ 49
12	15~16	業務にてバイクで移動中、交差点において、トラックと衝突し負傷した。	48	50 ~ 99
12	11~12	足場材を倉庫で整理中、積み方が悪かったためフォークリフトを降りて積み込みを確認中、足場が崩れて下半身を負傷（骨折）した。	65	100 ~ 299
12	18~19	送迎の添乗をしていたとき、左後方の座席に座っていた。運転手がバックした際、車の後方がマンションの壁（階段）にぶつかり、車体が大きく揺れ、首が後屈する姿勢となった。	22	30 ~ 49
12	14~15	訪問介護サービスで買い物の援助のため、原付バイクで東から西に直進し、交差点に進入したところ、南から北に直進してきた自転車とバイク左側が接触して転倒し、両足・首・腰を負傷した。	46	100 ~ 299
12	17~18	駐輪場の一番奥に置いていたバイクに乗って帰ろうとしたとき、右隣に止めていたバイクに引っ掛かり、バイクごと左側に転倒し、左足首を強打した。	59	100 ~ 299
12	12~13	訪問を終えてバイクで介護センターへ戻る道中、交差点内で右折しようとした際、前方より進行してくる車に気づき、ブレーキをかけたところ車輪が滑り、バイクとともに右側へ転倒し、右手骨骨折、右胸腹部を打撲した。	54	300 ~ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html